

シロアリ防除工法



建物基礎外周の土壌中に薬剤の処理層を
形成する新しいシロアリ防除工法
建物外周からのシロアリ侵入対策に最適

登録商標 第6536673号

POINT

住宅床下への薬剤散布不要!
あらゆる構造の住宅に施工可能!
優れた防蟻効果、認められた安全性!



建物基礎外周の土壌中に薬剤の処理層を形成する新しいシロアリ防除工法

新築・既築を問わず 住宅内に入らず施工可能！

建物基礎外周の土壌中に薬剤の処理層を形成する新しいシロアリ防除工法なので：

- 新築現場では、従来工法と比べて、より柔軟なタイミングで施工可能です。
- 既設現場では、施工時に作業員が住宅内に入らず、在宅中でも安心して施工可能です。従来工法と比べて、臭いに関するトラブルやクレームを防止できます。



あらゆる構造の住宅に 施工可能！

- 従来工法ではベイト工法以外是对応出来なかった、基礎張り断熱住宅やエアサイクル住宅、アパート、床下空間の狭い住宅にも最適な工法です。
- 建築物省エネ法の改正により、床下に薬剤散布ができない住宅が増えると予想されています。



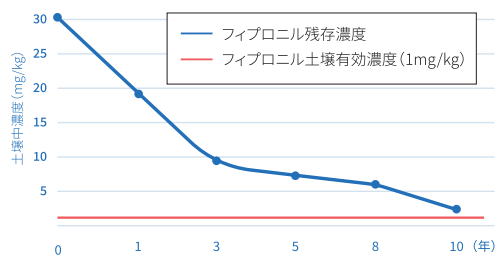
優れた防蟻効果、 認められた安全性！

- DominoZoneで使用する専用薬剤アジェンダSCは、優れた防蟻効果と長年の実績に裏付けられたフィプロニルを有効成分とする防蟻用土壌処理剤です。
- 安全性に関して、業界標準より厳しい自社基準で、薬剤から工法の内容まで含めてリスク評価を実施しています。
- また、本工法は建物外周部での薬剤処理を行います。そのため、処理することによる環境への影響、特に地下水系への影響に関して、フィプロニルの水産動植物にかかる登録保留基準値*を超えないことを確認しています。
- 専門講習を受けた“DominoZone Experts”によって実施されるので高い施工品質を確保できます。



*魚類や甲殻類、藻類に対する急性毒性試験の結果に基づいて設定された基準値

DominoZone処理 処理層における10年間のフィプロニル残存濃度
-実験をもとにしたHYDRUS-1D(土壌中の物質移動シミュレーション)による予測-



*HYDRUS-1Dは、米国農務省 U.S. Salinity Laboratory (米国塩類研究所) において開発された不飽和土中一次元水分・溶質・熱移動プログラムであり、土壌中の物質の動態に関してシミュレーションを実施できる。

試験

- 試験1: 小スケールの模擬実験ポット(50cm深さ)の土壌にアジェンダSC(有効成分フィプロニル)を処理、その上から人工降雨を行い、土壌中の処理層における1か月間のフィプロニルの処理層中の減衰を観察した。
- 試験2: 試験1で得られた実データをもとに、フィプロニルの長期残留濃度を土壌中物質移動予測ソフトウェア(HYDRUS-1D*)を使用して予測した。シミュレーション条件として試験1における降雨条件等を10年間まで延長し、得られた期間中のフィプロニル濃度を同成分の土壌有効濃度である1mg/kgと比較した。

結果

- 試験の結果、アジェンダSCの処理層においてフィプロニルの土壌中有効濃度である1mg/kgを十分に上回る濃度が、10年想定期間内で維持され、DominoZone工法が防蟻処理として有効であることがわかった。

様々な害虫・害獣の基礎知識から
防除のポイントまで詳しく紹介します



LINE

@145prml
を検索して友だち登録



YouTube

ご視聴は
こちらから

envu

エンバイロサイエンスジャパン株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-6-1
www.jp.envu.com



お問い合わせ先